

切除が難しい皮膚腫瘍に・・・

モーズ法 (Mohs 法)

モーズ法とは、出血や表面がジュクジュクしている皮膚腫瘍、悪臭を伴う進行した皮膚腫瘍や体表腫瘍の症状を緩和することで、生活の質 (QOL; Quality Of Life) を向上させる目的で使用される治療法です。

おもに、切除が難しい場合に適応されるケースが多い治療法です。

モーズペーストという塗り薬を腫瘍表面に塗りこみ 15~60 分ほどおくことで、腫瘍を凝固させ、出血や表面のジュクジュクした症状などをコントロールできます。

実際の症例

18 歳 猫 (未避妊)

大きくなった乳腺腫瘍から出血がとまらないとのことでお悩みになられていました。

高齢のため手術ができませんでしたが、モーズペーストを週に 1 回程度おこないました。少しずつ皮膚腫瘍のサイズが小さくなりました。腫瘍を完全になくすことは難しい治療ですが、皮膚表面からの出血がなくなり、猫ちゃん、そしてご家族の方の QOL が改善しました。



図 1：治療前



図 2：ペースト塗布直後

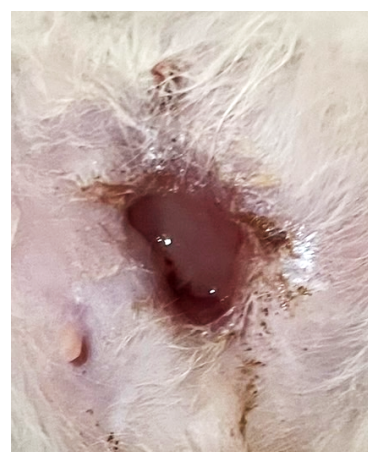


図 3：治療開始 7 ヶ月

図 1：治療前

治療開始前の腫瘍は 5cm 程度と大きく、表面に出血がありました。

図 2：ペースト塗布後

モーズペーストを塗布し 15~30 分ほどおいてからお薬を拭いた直後のお写真です。

直後は表面の出血や蛋白が凝固し、白くなり止血できます。

2~3 日たつと表面が黒くなり壊死した組織が自然に脱落します。

これを週に 1 回程度繰り返しておこなうことで少しずつ腫瘍サイズも小さくなります。

図 3: 治療開始後約 7 ヶ月

表面に大きく隆起していた腫瘍組織は 1cm 程度まで小さくなると同時に、出血量が少なくなりました。

* お写真はご家族の方の同意を得て投稿させていただいております。

* 治療反応は個体差があります。

方法

1. 院内でモーズペーストを調合します。
2. 患部を消毒します。汚れやカサブタなどは丁寧に除去します。
必要に応じて患部周囲の毛刈りをします。
3. ペーストを塗布し 30 分前後おきます。
その間、舐めないようにガーゼでおおったり、動かないように抱っこするケースがあります。
4. ペーストを拭いとり、洗浄し乾かします。



右図：ペーストの材料のお写真

硫化亜鉛、亜鉛華デンプン、グリセリン、
生理食塩水を混合します。

注意点

モーズペーストは病変だけではなく、正常な皮膚にダメージを与えることがあります。

そのため、塗布している間は誤ってペーストを誤飲してしまったり、動くことでペーストが患部以外の部位に付着しないように見守る必要があります。また、ペーストは作成直後に使用する必要があります。

以上の点から、ご家庭用には処方しておりませんのでご了承ください。

コメント

人の医療領域で長年使用されているモーズ法は、犬猫にもお体への負担の少ない侵襲度が低い治療として応用ができます。

さまざまな理由で手術や根治が目標せない場合でも、QOL の向上のための選択肢の一つとなりましたら幸いです。お悩みの方はご相談ください。

費用（腫瘍の大きさ・保定時間による）

モーズ法治療 6000 円～

表面麻酔 500 円～